

**五泉市立小中学校の適正配置に関する  
基本方針**

令和5年8月  
五泉市教育委員会



## 目次

1 基本方針策定の趣旨 .....	1
2 経 過 .....	3
3 五泉市立小中学校の現状について .....	6
4 規模による学校の特徴 .....	10
5 適正配置の目的 .....	16
6 適正配置の基本的な考え方 .....	16
7 適正配置の検討 .....	18
8 適正配置における留意点 .....	18
【参考資料 1】 小学校の児童数見込み .....	20
【参考資料 2】 中学校の生徒数見込み .....	25
【参考資料 3】 学校統廃合の経過 .....	27
【参考資料 4】 学校施設の概要 .....	29
【参考資料 5】 小中学校校舎の現状及び給食提供数 .....	33
【参考資料 6】 令和5年度 小学校区域図 .....	35
【参考資料 7】 令和5年度 中学校区域図 .....	36
【参考資料 8】 学校の規模について .....	37



## 1 基本方針策定の趣旨

### (1) 基本方針策定の背景

五泉市が誕生してから 17 年が経過しました。

この間、第 1 次五泉市総合計画から始まり、現在の第 2 次総合計画後期基本計画に掲げる政策を推進するにあたり、教育委員会におきましては、生きる力を育む教育の推進として、未来を拓く子どもたちが社会において自立的に生きていくために、必要な力を身に付けることができるよう、知識、技能の習得とともに、思考力・判断力、表現力、学びに向かう力を養うための教育を進めているところです。

そのような中、本市におきましては人口減少が続いており、この傾向は児童生徒数の減少にもつながっているところです。市内には、小規模校（1 校当たりの学級数が標準（12～18 学級。詳しくは、3（2）学校規模の現状を参照）を下回る学校）と言われる学校が、小学校で 7 校、中学校で 3 校となっており、市立小中学校 13 校中 10 校、76.9%が該当しています。そして、将来にわたりこの傾向は続いていくことが予測され、今後の学校運営にあたっての大きな課題となっています。

※学校の規模については、参考資料 8 を参照

### (2) 基本方針策定の目的

「五泉市立小中学校の適正配置に関する基本方針」は、市の現状や予測される将来の状況に適切に対応し、総合計画に定めた政策や施策を確実に実現するために定めたものです。

### (3) 基本方針の位置付け

本市の最上位計画である「第 2 次五泉市総合計画」との整合性を図ったうえで策定しています。

### (4) 基本方針の期間

令和 5 年度から令和 14 年度までの 10 年間とします。

ただし、必要な場合は状況に応じて方針を見直すこととします。

**(5) 基本方針の対象**

基本方針の対象は、五泉市立小中学校全 13 校とします。



図1 学校施設の配置状況

## 2 経 過

本市の平成 18 年 1 月の合併時点での人口は 58,436 人でしたが、13 年後の令和元年 5 月に 5 万人を割り込み、令和 5 年 4 月現在は 46,931 人と 11,505 人減少しました。この傾向は児童生徒数にも影響を及ぼし、平成 18 年 4 月時点の児童生徒数は小学生が 3,128 人、中学生が 1,698 人で合わせて 4,826 人でしたが、令和 5 年 5 月には小学生が 1,935 人、中学生が 1,064 人で合わせて 2,999 人と 17 年間で 1,827 人、37.86%減少しました。

市では、少子化の進行を大きな課題と捉え、将来のあるべき公立学校の姿を示すために平成 22 年 10 月 22 日に「五泉市立小中学校の適正配置に関する方針」を定めました。

そしてその方針を基に、平成 24 年 4 月に川内小学校と村松東小学校を統合し、愛宕小学校を開校しました。また、平成 27 年 3 月には十全小学校を村松小学校に統合するとともに、平成 29 年 4 月には山王中学校と愛宕中学校の両校が閉校し、新たに村松桜中学校が誕生しました。

このことにより、現在の五泉市立小中学校は、合併当初と比べ、小学校で 2 校減の 9 校、中学校では 1 校減の 4 校が設置されています。

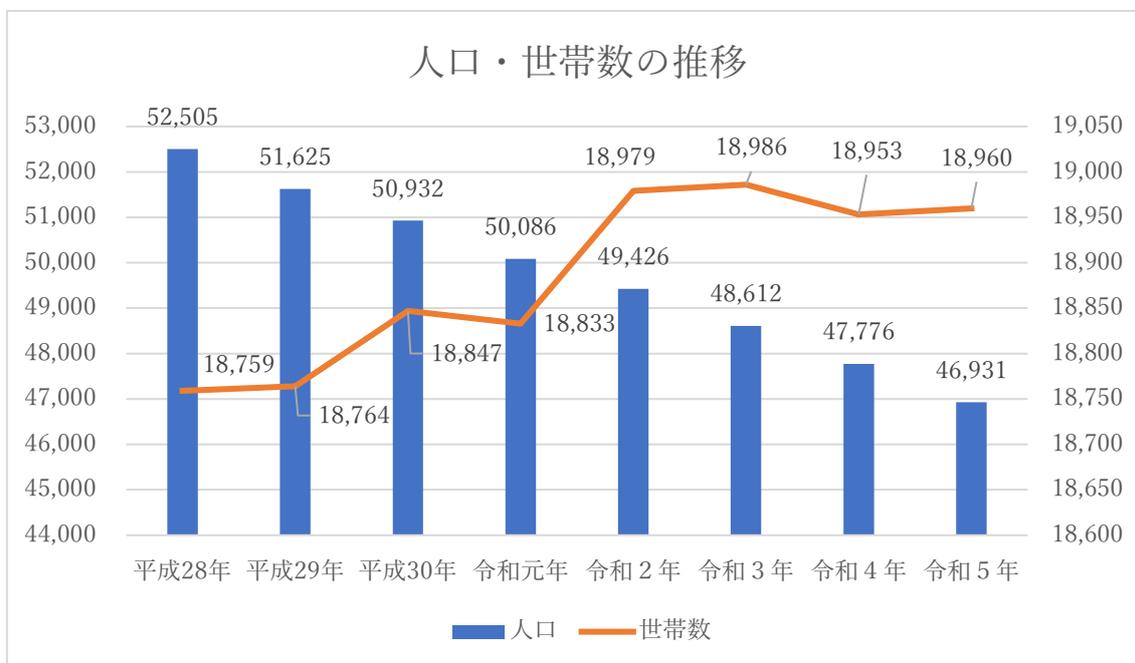


図2 人口・世帯数の推移 五泉市住民基本台帳（各年4月1日、外国人含む）

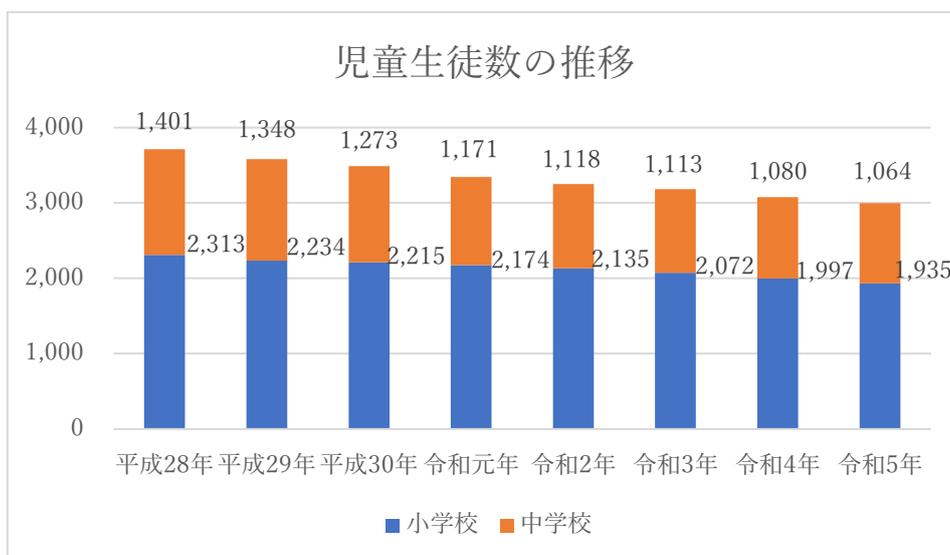


図3 児童生徒数の推移

各年5月1日の在籍数

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
	人数	C	人数	C	人数	C	人数	C	人数	C	人数	C	人数	C
五泉小	68	3	72	3	70	2	83	3	69	2	80	3	442	16
五泉南小	64	2	75	3	56	2	57	2	90	3	71	2	413	14
五泉東小	45	2	34	1	40	2	51	2	42	2	38	2	250	11
川東小	20	1	21	1	30	1	16	1	28	1	30	1	145	6
巢本小	11	1	9	1	19	1	15	1	16	1	17	1	87	6
橋田小	13	1	11	1	14	1	10	1	15	1	14	1	77	6
大蒲原小	14	1	11	1	15	1	15	1	16	1	20	1	91	6
村松小	30	1	34	2	36	1	47	2	39	2	47	2	233	10
愛宕小	33	2	26	1	28	1	36	1	36	1	38	2	197	8
計	298	14	293	14	308	12	330	14	351	14	355	15	1,935	83
	1年		2年		3年		計							
	人数	C	人数	C	人数	C	人数	C						
五泉中	127	4	118	4	122	4	367	12						
五泉北中	90	3	111	4	104	3	305	10						
川東中	24	1	18	1	19	1	61	3						
村松桜中	115	4	103	3	113	4	331	11						
計	356	12	350	12	358	12	1,064	36						

表1 学校・学年別児童生徒・学級数

(令和5年5月1日現在、人数は児童生徒の在籍数、Cは通常学級数)

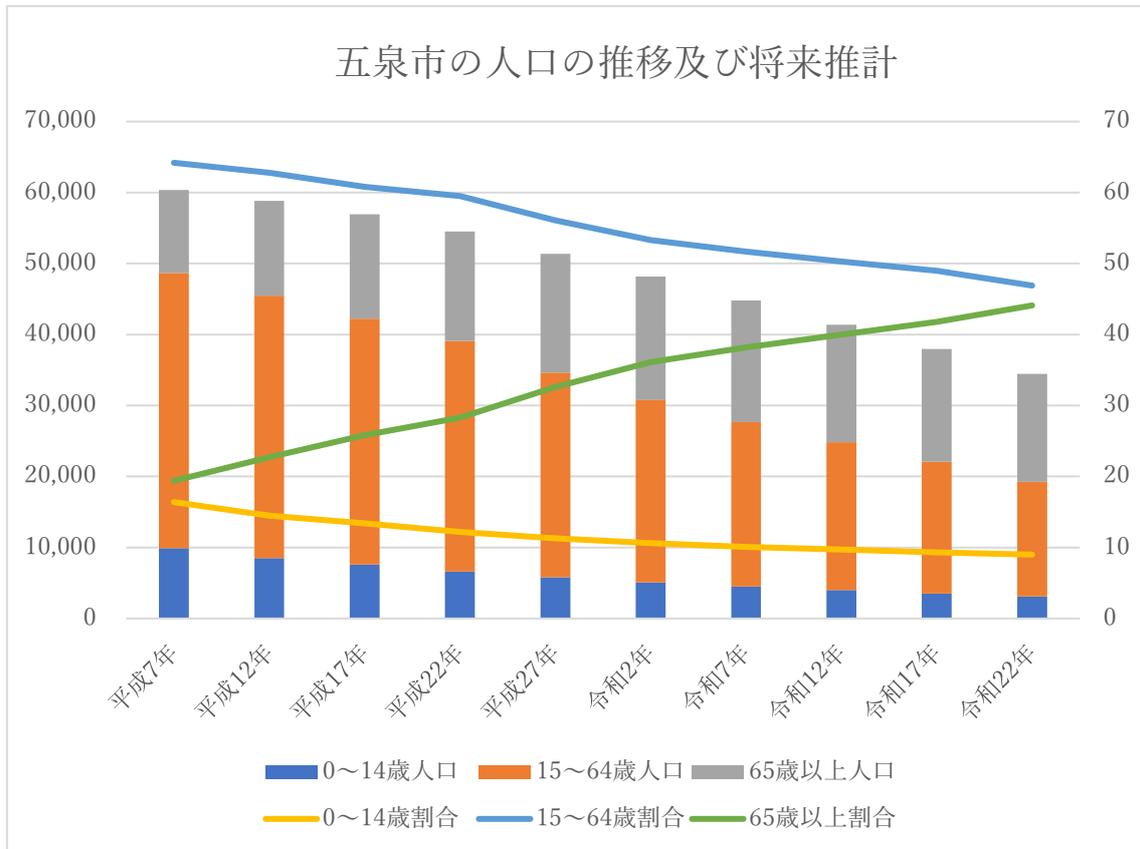


図4 五泉市の人口の推移及び将来推計

項目	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7	R12	R17	R22	
人口 (人)	0~14歳	9,905	8,528	7,611	6,635	5,806	5,085	4,525	4,011	3,522	3,116
	15~64歳	38,758	36,930	34,647	32,462	28,848	25,675	23,155	20,812	18,583	16,154
	65歳以上	11,691	13,358	14,701	15,422	16,737	17,413	17,139	16,574	15,854	15,199
	計	60,354	58,816	56,959	54,519	51,391	48,173	44,819	41,397	37,959	34,469
割合 (%)	0~14歳	16.4	14.5	13.4	12.2	11.3	10.6	10.1	9.7	9.3	9.0
	15~64歳	64.2	62.8	60.8	59.5	56.1	53.3	51.7	50.3	49.0	46.9
	65歳以上	19.4	22.7	25.8	28.3	32.6	36.1	38.2	40.0	41.8	44.1

表2 2015年度国勢調査に基づく国立社会保障・人口問題研究所による推計  
(H7~27年度は実数、R2~22年度は推計)

### 3 五泉市立小中学校の現状について

#### (1)児童生徒数の推移

##### ①小学校

小学校の児童数は、平成25年5月が2,645人でしたが、令和5年5月では1,935人となり、10年間で710人、26.8%減少しました。

また、5年後の令和10年度には1,491人となることが予測され、令和5年度に比べ444人、22.9%減少することとなります。

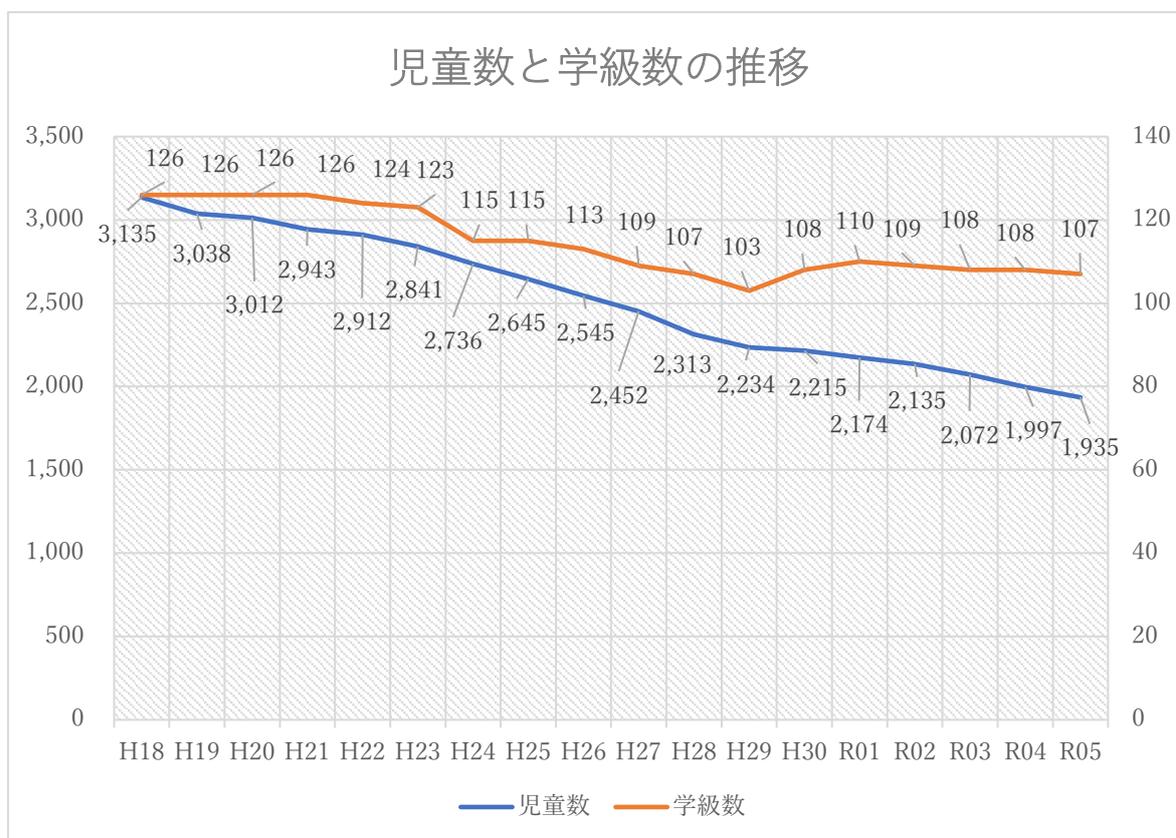


図5 児童数と学級数の推移（※学級数は、通常学級数と特別支援学級数の合計）

②中学校

中学校の生徒数は、平成 25 年 5 月が 1,450 人でしたが、令和 5 年 5 月は 1,064 人となり、10 年間で 386 人、26.6%減少しました。

また、5 年後の令和 10 年度には 943 人となることが予測され、令和 5 年度に比べ 121 人、11.4%減少することとなります。

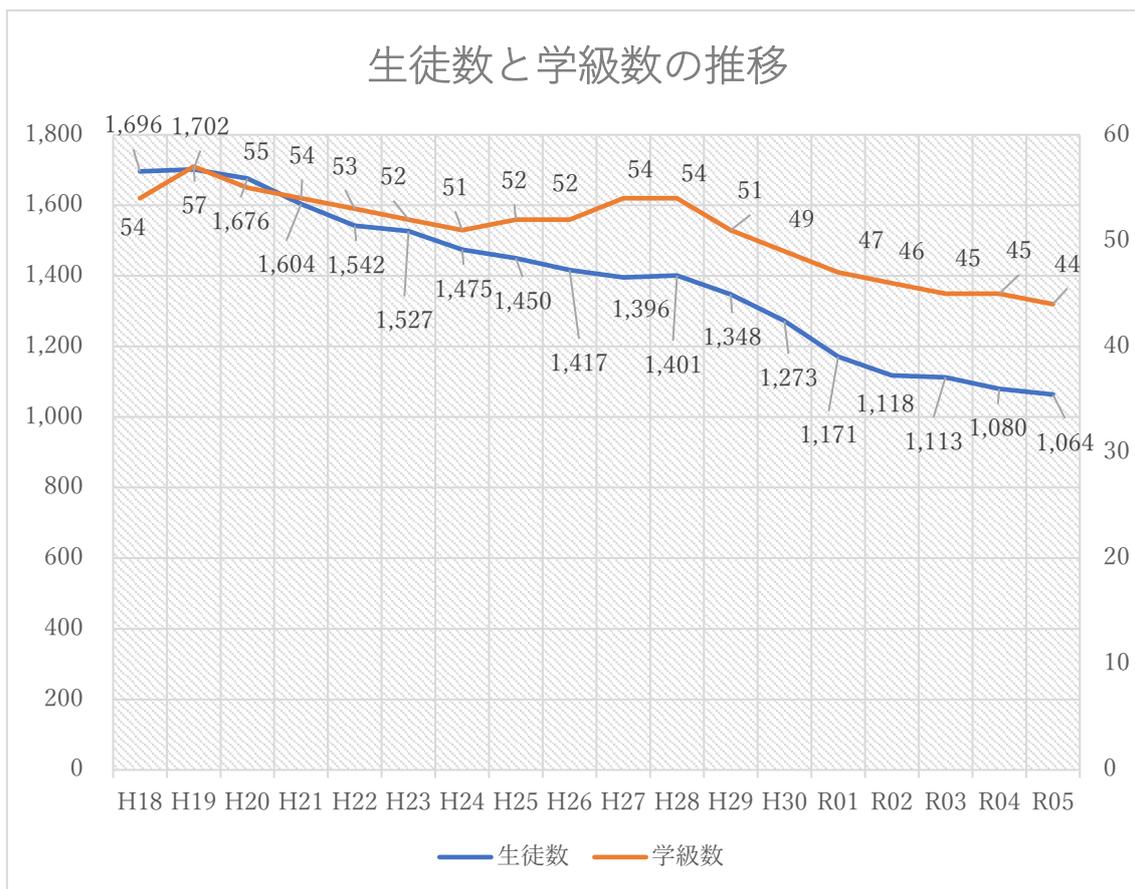


図6 生徒数と学級数の推移（※学級数は、通常学級数と特別支援学級数の合計）

## (2)学校規模の現状

小学校の学級数については学校教育法施行規則第 41 条に「小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし地域の実情その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」としており、中学校の学級数についても同法施行規則第 79 条に「第 41 条の規定は中学校に準用する。」とされています。

なお、五泉市立小中学校における通常学級の学級数は以下のとおりです。

市内小・中学校の現状		令和 5 年 5 月 1 日現在	
学校名	学級数	学校名	学級数
五泉小学校	16	五泉中学校	12
五泉南小学校	14	五泉北中学校	10
五泉東小学校	11	川東中学校	3
川東小学校	6	村松桜中学校	11
巢本小学校	6		
橋田小学校	6		
大蒲原小学校	6		
村松小学校	10		
愛宕小学校	8		

表 3 五泉市立小中学校における通常学級の学級数

### **(3)通学区域及び通学の現状**

通学区域は、五泉市立学校の通学区域に関する規則に定められ、これまでも通学区域の設定にあたっては、条例に基づいて設置する五泉市立小中学校学区調査審議会で、保護者や地域住民の皆さまの意向を尊重しながら決定してきました。

また、通学に関しては、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第4条において、適正な学校規模の条件の1つとして、「通学距離が、小学校にあつてはおおむね4キロメートル以内、中学校にあつてはおおむね6キロメートル以内であること。」と規定されています。

このことから、五泉市ではこの基準に則り、小学校は4キロメートル、中学校は6キロメートルを超える区域から通学する児童生徒に対しては、スクールバスの運行や通学費用の補助を行っています。

また、冬期間については小学校が2キロメートル、中学校は3キロメートルを超える区域から通学する児童生徒に対しては、冬期間のみのスクールバスの運行を行っています。

## 4 規模による学校の特徴

### (1)小規模校の特徴

児童生徒数が少ない小規模校では、その良さを生かした教育活動が行われています。低学年から高学年までの距離感が近く、和やかな雰囲気が校内に生まれます。また、教職員からも一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導ができるなどのことが小規模校の特徴と言えます。

その一方で、学習や様々な学校行事による集団行動が限定的になることや、クラス編成が固定化するとともに、部活動においては、部員不足による活動の休止や制限がある場合があります。

#### ① 学習面

##### ○特徴

- i 一人一人に目が行き届いた指導がしやすい。
- ii 一人一人の理解度の違いに配慮したきめ細やかな指導ができる。
- iii 児童生徒の発表や体験の機会と一人一人が活躍できる場面が増え、経験値が高まる。

##### ○課題

- i 多様な考え方に触れる機会が少なくなる。
- ii 一人一人の活躍の場が多い反面、役割があらかじめ割り当てられることが多く、自らをアピールしていく積極性が発揮しにくい。
- iii 体育の団体競技や音楽の合唱など一定の人数が必要な活動を、本来の形として学ぶことができないことがある。

#### ② 人間関係

##### ○特徴

- i 1学年1学級の場合、クラス替えがないため、児童生徒同士の互いの理解が深まり、結束力が高まる。
- ii 低学年から高学年までの距離が近く、異学年交流も多いことから、低学年のうちから高学年との様々な経験ができる。
- iii 家庭や地域とのかかわりも多く、家庭、学校、地域の一体感が強い。

○課題

- i 人間関係が固定化する傾向にあり、運動や勉強また日常の学校生活のなかで、自然に優劣関係ができ、競い合いが少なくなりがちになる。
- ii 少数の中で児童生徒同士がお互いをよく理解しているがゆえに、逆に必要なことを相手に伝える力が不足することがある。
- iii 1学年1学級の場合、児童生徒同士の人間関係に問題が生じたときにクラス替えによって改善を図ることができない。

③ 学校運営

○特徴

- i 教職員同士の意思の疎通が図りやすく、連携が密になる。そのために学校全体の一体感や子どもたちへの目配りもきめ細やかになる。
- ii 学校施設、設備、備品などを余裕をもって使用することができる。

○課題

- i 児童生徒数や教職員数がともに限られることから、部活動で大人数が必要となる種目が行いにくくなり、選択肢が狭くなることがある。
- ii 一人の職員に複数の校務分掌が集中しやすい。
- iii 児童生徒だけではなく、保護者にとってもPTA活動など学校にかかわる時間が多くなるなど、一人の負担が大きくなりがちになる。

#### ④ 過小規模校における複式学級

複式学級は、基本的には異なる二つの学年の児童生徒で構成されます。そのため、複式学級の児童生徒は、給食や係活動など学級の様々な活動場面で、異学年と関わりながら学校生活を送ることに特徴があります。

また、複式学級の授業にも大きな特徴があり、その特徴は大きく二つに分けることができます。一つ目は、異なる二つの学年の児童生徒が、一つの教室でそれぞれの学年の学習内容を別々に学ぶ授業です。この授業では、一人の教師が、ある学年の児童生徒の学習に入って指導をしている間、もう一方の学年の児童生徒は自分たちで学習を進めることとなります（直間指導）※図7。このような授業は、主に算数のような授業内容に積み重ねのある教科で行われます。自分で学びを進める力をのばせる反面、教師が直接指導する時間が短くなるため、授業進度や深まりに影響があります。二つ目は、異なる二つの学年の児童生徒がある学年の学習内容を一緒に学ぶ授業です。この授業では、下の学年の児童生徒が上の学年の児童生徒と一緒に上の学年の学習内容を学んだり、上の学年の児童生徒が下の学年の児童生徒と一緒に下の学年の学習内容を学んだりします。そのため、異なる二つの学年の児童生徒が、二年間を通して2学年分の学習内容を確実に履修できるよう、教師が学習内容の配列を計画しています（A B年度方式）※図8及び表4。主に、国語や理科などで行われることが多いです。2学年の児童生徒が一緒に学べる利点が多いですが、授業の構成を考える等教員の負担が大きくなります。

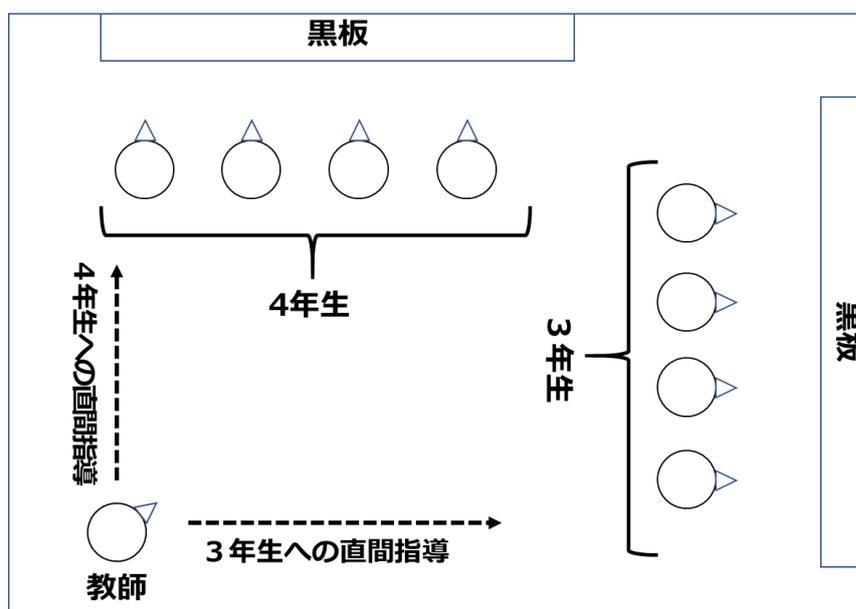


図7 直間指導イメージ図

一人の教師が、ある学年の児童生徒の学習に入って指導をしている間、もう一方の学年の児童生徒は自分たちで学習を進めます。

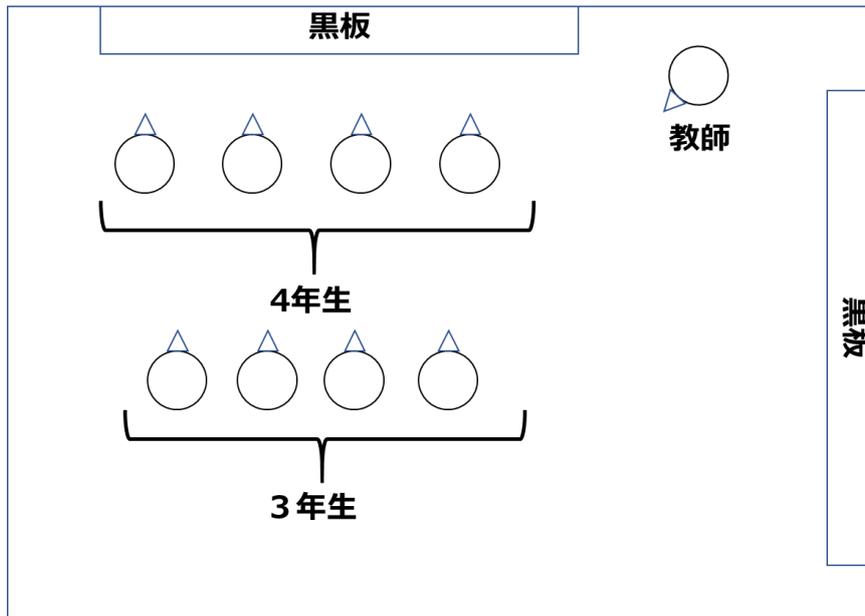


図8 AB年度授業イメージ図

<p><b>3年生理科</b>  (3年_1) しぜんのかんさつ  (3年_2) 植物を育てよう  (3年_3) かげと太陽  (3年_4) チョウを育てよう  (3年_5) こん虫を調べよう  (3年_6) 音をつたえよう  (3年_7) 光を調べよう  (3年_8) 風のはたらき  (3年_9) ゴムのはたらき  (3年_10) 明かりをつけよう  (3年_11) じしゃくのひみつ  (3年_12) ものの重さを調べよう</p>		<p><b>3・4年生複式 A年度</b>  (3年_1) しぜんのかんさつ  (3年_2) 植物を育てよう  (3年_3) かげと太陽  (3年_7) 光を調べよう  <b>(4年_2) 1日の気温と天気</b>  <b>(4年_3) 空気と水</b>  (3年_6) 音を伝えよう  (3年_10) 明かりをつけよう  <b>(4年_4) 電気のはたらき</b>  (3年_11) じしゃくのひみつ  (3年_12) ものの重さを調べよう  <b>(4年_13) 人の体のつくりと運動</b></p>
<p><b>4年生理科</b>  <b>(4年_1) 季節と生き物の様子</b>  <b>(4年_2) 日の気温と天気</b>  <b>(4年_3) 空気と水</b>  <b>(4年_4) 電気のはたらき</b>  <b>(4年_5) 雨水の流れ</b>  <b>(4年_6) 月と星</b>  <b>(4年_7) 自然の中の水</b>  <b>(4年_8) 水の3つの姿</b>  <b>(4年_9) ものの体積と温度</b>  <b>(4年_10) ものの温まり方</b>  <b>(4年_11) 人の体のつくりと運動</b></p>	<p><b>3・4年生複式 B年度</b>  <b>(4年_1) 季節と生き物の様子</b>  <b>(4年_5) 雨水の流れ</b>  (3年_4) チョウを育てよう  (3年_5) こん虫を調べよう  <b>(4年_6) 月と星</b>  (3年_8) 風のはたらき  (3年_9) ゴムのはたらき  <b>(4年_7) 自然の中の水</b>  <b>(4年_8) 水の3つのすがた</b>  <b>(4年_9) ものの体積と温度</b>  <b>(4年_10) ものの温まり方</b></p>	

表4 理科におけるAB年度方式の学習内容配列例

異なる二つの学年の児童生徒が、二年間を通して2学年分の学習内容を確実に履修できるよう、教師が学習内容の配列を計画し授業を進めます。

## (2)大規模校の特色

様々な環境で成長してきた児童生徒が、多様な人間に触れ、お互いに理解し合い、刺激を受けることで、自らの成長につなげられるとともに、集団の中で自分の意見や主張を表現することなどで、協調性や積極性などを学ぶことができます。

その一方では、学校活動などを行うに当たり、様々な意見などがでて、それを取りまとめることが容易ではなく、集約に時間がかかることや一人一人の発表の機会などが限られてしまうという面もあると考えます。

### ① 学習面

#### ○特徴

- i 様々な意見を聞き、考え方の幅や視野の広がりが期待できる。
- ii 学校行事では、大勢の人数でグループ分けされることから、活気や団結力が高まる
- iii 体育の団体競技や音楽の合唱など、一定の人数が必要な学習が可能となる。

#### ○課題

- i 人数が多い分、教職員による児童生徒の行動が把握しづらい場合がある。
- ii 全体指導が多くなり、個々の理解度に応じた指導ができにくい。
- iii 発表や発言などの機会が全員に保障されない場合があるため、積極性を出さないと何となくその場においてしまうような状況になり得る。

### ② 人間関係

#### ○特徴

- i 学校の規模が大きいためクラス替えについても、様々な事柄を配慮したクラス編成が可能となる。
- ii 多様な人材による集団生活となるため、社会性や協調性を学ぶことができる。
- iii 様々な場面で多様な人と活動できるため、互いに切磋琢磨することで成長の早さや度合いが期待以上になることもある。

○課題

- i 児童生徒が多いため学年内や異学年との交流が不十分で、学校全体の一体感を形成することが困難な場合がある。
- ii 教職員による児童生徒一人一人のきめ細やかな把握が難しい。
- iii 家庭、地域、学校のかかわりが比較的少なく、互いの理解に時間がかかる。

③ 学校運営

○特徴

- i 学校規模が大きいことから、教職員数もある程度確保ができ経験年数、専門性などバランスの取れた職員配置が可能となる。
- ii 生徒数や教職員数が多いため、様々な部活動が設置できるとともに、生徒たちにとっても選択肢が増える。

○課題

- i 児童生徒数が多いため、様々な予期せぬ事態が起きる確率が高い。
- ii 児童生徒に対する情報の伝達に時間がかかる場合がある。また、教職員の事務処理にも多大な労力を要する場合がある。
- iii P T A活動等において保護者の負担は小さくなるが、「私がやらなくてもいいだろう」という消極的な考え方になるケースがある。

## 5 適正配置の目的

適正配置の目的は、第2次五泉市総合計画に掲げる「生きる力を育む教育の推進」を実践し、児童生徒が加速度的に変化する社会をたくましく生きていけるように導いていくための環境を整えるためです。

未来を拓く子どもたちが、社会において自立的に生きるために必要な力を身に付けることができるよう、知識、技能の習得とともに、思考力・判断力、表現力、学びに向かう力を養う教育を行うためには、それに適した環境を整備する必要があり、その一つとして小中学校を適正に配置することが求められます。

学校の配置については、地理的、歴史的背景などによりそれぞれ事情は異なりますが、児童生徒数や通学距離など、できる限り均衡のとれた配置が必要であると考えます。

そして、一定の学校規模を保ち、教育の機会が均等になる中で、児童生徒がさらに自らの意思で知恵と想像力を生かしながら、多くの同級生、異学年の児童生徒と接し、励まし合い、協力し合いながら学校生活を送ることで、生きる力が育まれていくものと考えています。

また、学校は児童生徒だけではなく、学校が配置されている地域のシンボルであり、誇りです。多くの方々が学び育った学校は長く愛され続けるものだからこそ、学校、家庭、地域社会、行政が一体となって、児童生徒の将来を見据えながら、学校の在り方、地域の将来像を考えていかなければなりません。

## 6 適正配置の基本的な考え方

### (1) 学校の規模

本市の小・中学校の適正な規模は 12 学級以上 18 学級以下を標準とします。

これにより、小学校においてはクラス替えが可能な学級数にするとともに、中学校ではそれに加えて、全ての教科の担任が配置できるようにします。

ただし、地理的環境や地域の歴史などを考慮した中で、地域の特性を生かした小規模校ならではの教育活動が展開できる場合には、小学校は 6 学級以上、中学校は 3 学級以上とします。

### (2) 学級の規模

学級の規模は、新潟県の公立小・中学校の学級編成基準【令和 5 年度基準】により、以下のとおりとします。

① 小学校

- i 同学年の児童で編制する1学級の児童数は、第1学年から第4学年では原則として35人以下とし、第5学年、第6学年は、原則として40人以下とします（令和5年度の場合、定数改善の学年進行により変更がある）。
- ii 引き続き2の学年の児童数の合計が16人以下の場合は、1学級編制とします。ただし、第1学年の児童を含む学級は、8人以下を1学級編制とします。
- iii 飛び複式学級のいずれか1の学年の児童数が8人（第1学年を含む学級はいずれか1の学年の児童数が4人）を超えるものについては、当該2個学年による飛び複式学級は編制しません。
- iv 学校教育法第81条に規定する特別支援学級の1学級の児童数は8人以下とします。

② 中学校

- i 同学年の生徒で編制する1学級の生徒数は、40人以下とします。
- ii 引き続き2の学年の生徒数の合計が8人以下の場合は、1学級編制とします。ただし、引き続き2の学年が第1学年と第3学年の場合、いずれか1の学年の生徒数が4人を超えるものについては、飛び複式学級は編成しません。
- iii 学校教育法第81条に規定する特別支援学級の1学級の生徒数は8人以下とします。

**(3) 通学距離**

通学路の安全確保の状況や地理的な条件に加え、徒歩のほか一部自転車通学を認めることなども考慮して、国の法令に規定されているとおり、小学校についてはおおむね4キロメートル以内、中学校についてはおおむね6キロメートル以内とします。

## 7 適正配置の検討

小・中学校の学級の規模が、上記「6 適正配置の基本的な考え方」の(2) - ① - ii 及び(2) - ② - ii に記載の1学級編制(複式学級)となり、学級数が同上(1)に記載の数を下回る、いわゆる過小規模校の状況に至ることが見込まれる場合には、市内全域の地理的環境や歴史的背景、地域の実情等を考慮したうえで、当該校及び関連する学校等の保護者、地域住民並びに学校関係者などの意見を十分に踏まえ、小・中学校の適正配置を検討するものとします。

## 8 適正配置における留意点

学校の適正配置を検討する場合には、以下の点に留意します。

### (1) 通学の環境整備と手段の確保

適正配置による通学区域の変更などにより、通学路が変わることが想定される場合は、学校や警察署及び行政が、事前に新たな通学路と想定される道路等の点検、確認を行い、危険個所の解消及び安全対策など、安全・安心な通学環境の整備を検討します。

また、通学距離が基準を超える場合は、スクールバスの運行や公共交通機関を利用する児童生徒の保護者に対する補助制度などにより、通学手段の確保と通学に係る負担の軽減を図ります。

### (2) 中学校への進学

同じ小学校で6年間学び、長い時間をかけ強い絆を育んできた児童が、全員同じ中学校に進学できるよう配慮します。

また、小学校と中学校の義務教育9年間の学習指導や生活指導などを一貫性のあるものとするとともに、中学校進学の際の生徒の心の不安を解消するため、小・中学校間の情報共有と連携を図ります。

### (3) 児童生徒への支援

学校における学習及び生活環境に大きな変化が生じ、児童生徒が心身の不調に陥ることがないように、事前の交流事業を実施するなど、新たな学校生活へスムーズに移行されるよう、子どもたちに十分配慮します。

### (4) ICT環境の整備と活用

地域の特性を生かしながら、小規模校ならではの教育活動を展開していく場合には、学習やコミュニケーションツールとして使用しているICT機

器などの環境整備を継続的に行うとともに、それを最大限に活用することで、教育の質とコミュニケーション能力の向上を図ります。

#### **(5) 地域社会との連携**

少子化が進む中、子どもたちが生きる力を身に付けていくためには、学校にかかわる皆さまとの連携や協力が不可欠です。児童生徒が、地域の方々とかかわりながら、地域の特性や文化、伝統などを学習することで、地域への愛着が育まれるとともに、心身の健全な成長を遂げられるように体制の整備を図ります。

#### **(6) 保護者や地域住民との合意形成**

児童生徒の教育環境を最優先することになりますが、学校が地域のシンボルであり、誇りであるという側面から考えると学校の適正配置に関わる当該校やそれに関連する学校の保護者や地域住民、学校関係者などに対して、十分な説明による理解と協力を得ながら、地域との合意形成を目指します。

#### **(7) 学校施設等の整備と施設の有効活用**

教室設備などで不備や不足がある場合は、既存の学校施設を学校の規模に見合ったものへの改修や設備の整備を検討します。

また、学校の統合に至ることになった場合には、統合後の廃校となる学校施設は、校舎等の状況や安全性を点検したうえで、地域における利活用なども含め、再利用の方法などを検討していきます。

【参考資料 1】 小学校の児童数見込み

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
五泉小学校	R4	男	38	39	45	28	44	33	440
		女	34	32	39	40	34	34	
		学年計	72	71	84	68	78	67	
	R5	男	30	38	38	45	28	45	442
		女	38	34	32	38	41	35	
		学年計	68	72	70	83	69	80	
	R6	男	52	30	38	38	45	28	444
		女	30	38	34	32	38	41	
		学年計	82	68	72	70	83	69	
	R7	男	28	52	30	38	38	45	427
		女	24	30	38	34	32	38	
		学年計	52	82	68	72	70	83	
	R8	男	35	28	52	30	38	38	401
		女	22	24	30	38	34	32	
		学年計	57	52	82	68	72	70	
	R9	男	22	35	28	52	30	38	392
		女	39	22	24	30	38	34	
		学年計	61	57	52	82	68	72	
R10	男	30	22	35	28	52	30	371	
	女	21	39	22	24	30	38		
	学年計	51	61	57	52	82	68		
R11	男	26	30	22	35	28	52	350	
	女	21	21	39	22	24	30		
	学年計	47	51	61	57	52	82		

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
五泉南小学校	R4	男	41	31	38	56	32	47	439
		女	34	26	19	35	39	41	
		学年計	75	57	57	91	71	88	
	R5	男	37	41	31	37	56	32	413
		女	27	34	25	20	34	39	
		学年計	64	75	56	57	90	71	
	R6	男	32	37	41	31	37	56	415
		女	41	27	34	25	20	34	
		学年計	73	64	75	56	57	90	
	R7	男	24	32	37	41	31	37	376
		女	27	41	27	34	25	20	
		学年計	51	73	64	75	56	57	
	R8	男	30	24	32	37	41	31	370
		女	21	27	41	27	34	25	
		学年計	51	51	73	64	75	56	
	R9	男	31	30	24	32	37	41	373
		女	28	21	27	41	27	34	
		学年計	59	51	51	73	64	75	
R10	男	31	31	30	24	32	37	348	
	女	19	28	21	27	41	27		
	学年計	50	59	51	51	73	64		
R11	男	19	31	31	30	24	32	331	
	女	28	19	28	21	27	41		
	学年計	47	50	59	51	51	73		

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
五泉東小学校	R4	男	16	18	30	21	16	24	240
		女	17	19	20	21	21	17	
		学年計	33	37	50	42	37	41	
	R5	男	22	17	20	30	21	17	250
		女	23	17	20	21	21	21	
		学年計	45	34	40	51	42	38	
	R6	男	14	22	17	20	30	21	238
		女	12	23	17	20	21	21	
		学年計	26	45	34	40	51	42	
	R7	男	23	14	22	17	20	30	238
		女	19	12	23	17	20	21	
		学年計	42	26	45	34	40	51	
	R8	男	15	23	14	22	17	20	219
		女	17	19	12	23	17	20	
		学年計	32	42	26	45	34	40	
	R9	男	13	15	23	14	22	17	209
		女	17	17	19	12	23	17	
		学年計	30	32	42	26	45	34	
R10	男	17	13	15	23	14	22	209	
	女	17	17	17	19	12	23		
	学年計	34	30	32	42	26	45		
R11	男	10	17	13	15	23	14	183	
	女	9	17	17	17	19	12		
	学年計	19	34	30	32	42	26		

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
川東小学校	R4	男	13	12	8	18	13	12	151
		女	7	18	8	10	17	15	
		学年計	20	30	16	28	30	27	
	R5	男	9	13	11	8	18	13	145
		女	11	8	19	8	10	17	
		学年計	20	21	30	16	28	30	
	R6	男	8	9	13	11	8	18	133
		女	10	11	8	19	8	10	
		学年計	18	20	21	30	16	28	
	R7	男	4	8	9	13	11	8	113
		女	4	10	11	8	19	8	
		学年計	8	18	20	21	30	16	
	R8	男	9	4	8	9	13	11	112
		女	6	4	10	11	8	19	
		学年計	15	8	18	20	21	30	
	R9	男	6	9	4	8	9	13	97
		女	9	6	4	10	11	8	
		学年計	15	15	8	18	20	21	
R10	男	8	6	9	4	8	9	95	
	女	11	9	6	4	10	11		
	学年計	19	15	15	8	18	20		
R11	男	7	8	6	9	4	8	87	
	女	5	11	9	6	4	10		
	学年計	12	19	15	15	8	18		

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
巢本小学校	R4	男	5	8	4	11	11	5	88
		女	4	11	11	5	6	7	
		学年計	9	19	15	16	17	12	
	R5	男	3	5	8	4	11	11	87
		女	8	4	11	11	5	6	
		学年計	11	9	19	15	16	17	
	R6	男	6	3	5	8	4	11	81
		女	5	8	4	11	11	5	
		学年計	11	11	9	19	15	16	
	R7	男	6	6	3	5	8	4	72
		女	1	5	8	4	11	11	
		学年計	7	11	11	9	19	15	
	R8	男	5	6	6	3	5	8	68
		女	6	1	5	8	4	11	
		学年計	11	7	11	11	9	19	
	R9	男	1	5	6	6	3	5	57
		女	7	6	1	5	8	4	
		学年計	8	11	7	11	11	9	
R10	男	6	1	5	6	6	3	56	
	女	2	7	6	1	5	8		
	学年計	8	8	11	7	11	11		
R11	男	6	6	1	5	6	6	56	
	女	5	2	7	6	1	5		
	学年計	11	8	8	11	7	11		

複式学級

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
橋田小学校	R4	男	6	6	6	4	3	7	76
		女	5	8	4	11	10	6	
		学年計	11	14	10	15	13	13	
	R5	男	8	6	5	6	4	4	77
		女	5	5	9	4	11	10	
		学年計	13	11	14	10	15	14	
	R6	男	7	8	6	5	6	4	70
		女	0	5	5	9	4	11	
		学年計	7	13	11	14	10	15	
	R7	男	3	7	8	6	5	6	64
		女	6	0	5	5	9	4	
		学年計	9	7	13	11	14	10	
	R8	男	4	3	7	8	6	5	63
		女	5	6	0	5	5	9	
		学年計	9	9	7	13	11	14	
	R9	男	2	4	3	7	8	6	58
		女	7	5	6	0	5	5	
		学年計	9	9	9	7	13	11	
R10	男	1	2	4	3	7	8	49	
	女	1	7	5	6	0	5		
	学年計	2	9	9	9	7	13		
R11	男	2	1	2	4	3	7	42	
	女	4	1	7	5	6	0		
	学年計	6	2	9	9	9	7		

複式学級

複式学級

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
大蒲原小学校	R4	男	8	6	6	8	10	9	93
		女	3	11	9	8	11	4	
		学年計	11	17	15	16	21	13	
	R5	男	9	8	6	6	8	10	91
		女	5	3	9	9	8	10	
		学年計	14	11	15	15	16	20	
	R6	男	6	9	8	6	6	8	83
		女	6	5	3	9	9	8	
		学年計	12	14	11	15	15	16	
	R7	男	4	6	9	8	6	6	72
		女	1	6	5	3	9	9	
		学年計	5	12	14	11	15	15	
	R8	男	1	4	6	9	8	6	61
		女	3	1	6	5	3	9	
		学年計	4	5	12	14	11	15	
	R9	男	6	1	4	6	9	8	54
		女	2	3	1	6	5	3	
		学年計	8	4	5	12	14	11	
R10	男	2	6	複式学級	1	4	6	9	48
	女	3	2	3	1	6	5		
	学年計	5	8	4	5	12	14		
R11	男	1	2	6	複式学級	1	4	6	37
	女	2	3	2	3	1	6		
	学年計	3	5	8	4	5	12		

複式学級
複式学級

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
村松小学校	R4	男	15	16	29	19	19	29	262
		女	20	20	19	21	27	28	
		学年計	35	36	48	40	46	57	
	R5	男	19	15	16	28	19	20	233
		女	11	19	20	19	20	27	
		学年計	30	34	36	47	39	47	
	R6	男	27	19	15	16	28	19	234
		女	21	11	19	20	19	20	
		学年計	48	30	34	36	47	39	
	R7	男	12	27	19	15	16	28	223
		女	16	21	11	19	20	19	
		学年計	28	48	30	34	36	47	
	R8	男	8	12	27	19	15	16	194
		女	10	16	21	11	19	20	
		学年計	18	28	48	30	34	36	
	R9	男	12	8	12	27	19	15	181
		女	11	10	16	21	11	19	
		学年計	23	18	28	48	30	34	
R10	男	15	12	8	12	27	19	172	
	女	10	11	10	16	21	11		
	学年計	25	23	18	28	48	30		
R11	男	10	15	12	8	12	27	165	
	女	13	10	11	10	16	21		
	学年計	23	25	23	18	28	48		

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校数
愛宕小学校	R4	男	8	18	22	20	18	26	208
		女	17	10	14	16	20	19	
		学年計	25	28	36	36	38	45	
	R5	男	12	8	18	22	20	18	197
		女	21	18	10	14	16	20	
		学年計	33	26	28	36	36	38	
	R6	男	14	12	8	18	22	20	188
		女	15	21	18	10	14	16	
		学年計	29	33	26	28	36	36	
	R7	男	12	14	12	8	18	22	177
		女	13	15	21	18	10	14	
		学年計	25	29	33	26	28	36	
	R8	男	14	12	14	12	8	18	169
		女	14	13	15	21	18	10	
		学年計	28	25	29	33	26	28	
	R9	男	9	14	12	14	12	8	160
		女	10	14	13	15	21	18	
		学年計	19	28	25	29	33	26	
	R10	男	10	9	14	12	14	12	152
		女	8	10	14	13	15	21	
		学年計	18	19	28	25	29	33	
R11	男	6	10	9	14	12	14	134	
	女	9	8	10	14	13	15		
	学年計	15	18	19	28	25	29		

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
男	1,035	994	990	921	856	805	774	712
女	962	941	896	841	801	776	726	673
小学校計	1,997	1,935	1,886	1,762	1,657	1,581	1,500	1,385

【参考資料 2】 中学校の生徒数見込み

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	全校数
五泉中学校	R4	男	69	59	56	359
		女	49	62	64	
		学年計	118	121	120	
	R5	男	70	69	60	367
		女	57	49	62	
		学年計	127	118	122	
	R6	男	51	70	69	364
		女	68	57	49	
		学年計	119	127	118	
	R7	男	79	51	70	386
		女	61	68	57	
		学年計	140	119	127	
	R8	男	72	79	51	375
		女	44	61	68	
		学年計	116	140	119	
	R9	男	55	72	79	362
		女	51	44	61	
		学年計	106	116	140	
R10	男	63	55	72	339	
	女	54	51	44		
	学年計	117	106	116		
R11	男	66	63	55	342	
	女	53	54	51		
	学年計	119	117	106		

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	全校数
五泉北中学校	R4	男	56	58	49	322
		女	55	47	57	
		学年計	111	105	106	
	R5	男	46	56	57	305
		女	44	55	47	
		学年計	90	111	104	
	R6	男	60	46	56	305
		女	44	44	55	
		学年計	104	90	111	
	R7	男	42	60	46	288
		女	52	44	44	
		学年計	94	104	90	
	R8	男	53	42	60	303
		女	52	52	44	
		学年計	105	94	104	
	R9	男	49	53	42	295
		女	47	52	52	
		学年計	96	105	94	
R10	男	47	49	53	288	
	女	40	47	52		
	学年計	87	96	105		
R11	男	38	47	49	268	
	女	47	40	47		
	学年計	85	87	96		

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	全校数
川東中学校	R4	男	9	7	17	70
		女	9	12	16	
		学年計	18	19	33	
	R5	男	12	9	7	61
		女	12	9	12	
		学年計	24	18	19	
	R6	男	13	12	9	72
		女	17	12	9	
		学年計	30	24	18	
	R7	男	18	13	12	82
		女	10	17	12	
		学年計	28	30	24	
	R8	男	8	18	13	74
		女	8	10	17	
		学年計	16	28	30	
	R9	男	11	8	18	75
		女	20	8	10	
		学年計	31	16	28	
R10	男	12	11	8	67	
	女	8	20	8		
	学年計	20	31	16		
R11	男	8	12	11	71	
	女	12	8	20		
	学年計	20	20	31		

学校名	年度	性別	1年生	2年生	3年生	全校数
村松桜中学校	R4	男	47	60	61	329
		女	57	54	50	
		学年計	104	114	111	
	R5	男	64	47	59	331
		女	51	56	54	
		学年計	115	103	113	
	R6	男	48	64	47	323
		女	57	51	56	
		学年計	105	115	103	
	R7	男	48	48	64	312
		女	44	57	51	
		学年計	92	105	115	
	R8	男	56	48	48	295
		女	42	44	57	
		学年計	98	92	105	
	R9	男	40	56	48	270
		女	40	42	44	
		学年計	80	98	92	
R10	男	31	40	56	251	
	女	42	40	42		
	学年計	73	80	98		
R11	男	41	31	40	231	
	女	37	42	40		
	学年計	78	73	80		

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
男	548	556	545	551	548	531	497	461
女	532	508	519	517	499	471	448	451
中学校計	1,080	1,064	1,064	1,068	1,047	1,002	945	912

### 【参考資料 3】 学校統廃合の経過

小学校

学校名	統廃合した学校名	統合年月日	廃校年月日
五泉小学校			
五泉南小学校	町屋小学校	昭和40年4月1日	昭和40年3月31日
	木越小学校	昭和63年4月1日	昭和63年3月31日
五泉東小学校			
川東小学校	馬下小学校	平成9年4月1日	平成9年3月31日
	大蔵小学校		
巢本小学校			
橋田小学校	丸田小学校	平成11年4月1日	平成11年3月31日
大蒲原小学校			
村松小学校	十全小学校	平成27年4月1日	平成27年3月31日
	戸倉小学校	平成3年4月1日	平成3年3月31日
愛宕小学校	村松東小学校	平成24年4月1日	平成24年3月31日
	木越小学校	昭和63年4月1日	昭和63年3月31日
	川内小学校	平成24年4月1日	平成24年3月31日

中学校

学校名	統廃合した学校名	統合年月日	廃校年月日
五泉中学校			
	橋田中学校	平成16年4月1日	平成16年3月31日
五泉北中学校			
	巢本中学校	昭和56年4月1日	昭和56年3月31日
	橋田中学校	平成16年4月1日	平成16年3月31日
川東中学校			
村松桜中学校			
	山王中学校	平成29年4月1日	平成29年3月31日
	大蒲原中学校	昭和41年4月1日	昭和41年3月31日
	十全中学校		
	愛宕中学校	平成29年4月1日	平成29年3月31日
	川内中学校	昭和42年4月1日	昭和42年3月31日

【参考資料 4】 学校施設の概要

小学校

学校名	敷地面積 (㎡)	構造区分	棟	建物面積 (㎡)	区分	建築年月
五泉小学校	25,616.01	木造鉄板葺平屋建	1	95.00	プール付属屋	H2.8
		鉄筋コンクリート造三階建ほか	5	10,300.00	校舎、屋体	H元.8、H3.3 H26.12
五泉南小学校	20,611.64	木造カラ－鉄板葺平屋建	1	99.00	プール付属屋	H7.3
		鉄筋コンクリート造二階建ほか	7	7,666.00	校舎、屋体	H5.3、H9.8
		木造カラ－鉄板葺平屋建	2	12.00	倉庫、飼育小屋	H9.10
		鉄骨造平屋建ほか	2	381.00	給食棟	H18.2
五泉東小学校	27,248.33	木造鉄板葺平屋建	4	80.00	プール付属屋、飼育小屋 農機具格納庫	S52.7、S53.1 H7.8、H15.12
		鉄筋コンクリート造二階一部三階建ほか	5	5,992.00	校舎、屋体、自転車小屋	S50.3、S51.3 S51.8、S53.1
		鉄骨造平屋建	1	238.00	給食棟	H22.3
川東小学校	21,312.27	木造瓦葺二階建ほか	1	29.00	校舎	H5.6
		鉄筋コンクリート造三階建ほか	3	5,960.00	校舎、屋体	H6.3、H20.8
		木造カラ－鉄板瓦棒葺平屋建	1	33.00	屋外倉庫	H9.2
		木造カラ－鉄板瓦棒葺平屋建	1	10.00	飼育小屋	H9.2
		木造鉄板葺平屋建	1	20.00	プール付属屋	H20.9

学校名	敷地面積 (㎡)	構造区分	棟	建物面積 (㎡)	区分	建築年月
菓本小学校	20,614.80	木造瓦葺二階建ほか	7	3,467.00	校舎、屋体、倉庫 自転車小屋ほか	H7.8、H7.12 H8.2
		鉄筋コンクリート造二階建ほか	2	586.00	校舎、屋体ほか	H7.8、H7.12
		木造折板葺平屋建	1	112.00	プール付属屋	H8.8
		鉄骨造平屋建	1	237.00	給食棟	H19.3
橋田小学校	25,571.02	木造瓦葺二階建ほか	10	4,122.00	校舎、屋体、倉庫 自転車小屋ほか	H10.10、H11.3
		鉄筋コンクリート造二階建	3	106.00	校舎、屋体	H10.10、H11.3
		木造カラー鉄板瓦葺平屋建	1	108.00	プール付属屋	H11.3
		鉄骨造瓦葺平屋建	1	207.00	給食棟	H20.3
		鉄筋コンクリート造二階建	1	2,983.00	校舎	H元.3
大浦原小学校	20,429.35	鉄骨造平屋建	2	857.00	屋体、倉庫	S62.3、H2.8
		木造平屋建	2	16.30	プール機械室、飼育小屋	S46.6
		鉄筋コンクリート造三階建ほか	3	7,778.00	校舎、屋体、プール付属屋	S60.10、S61.3 S61.7
村松小学校	34,949.66	鉄骨造平屋建	3	731.00	屋体、倉庫、給食棟	S61.12、S63.7 S22.3
		鉄骨造三階建	1	78.16	エレベーター棟	H31.2
		木造平屋建	1	3.30	飼育小屋	-

学校名	敷地面積 (㎡)	構造区分	棟	建物面積 (㎡)	区分	建築年月
愛宕小学校	27,354.44	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造二階建	1	5971.00	校舎	H24.2
		鉄筋コンクリート造一部木造二階建	1	1,493.00	屋体	H24.3
		鉄筋コンクリート造平屋建	1	23.00	渡り廊下	H24.3
		鉄骨造平屋建	2	13.00	東屋、スクールバス発着場	H24.3
		アルミニウム合金造平屋建	1	6.00	自転車置場	H24.3
		鉄骨造平屋建	1	63.00	プール付居室	S55.7
		木造平屋建	1	55.00	プール付居室一部倉庫	H25.3

中学校

学校名	敷地面積 (㎡)	構造区分	棟	建物面積 (㎡)	区分	建築年月
五泉中学校	33, 123.51	鉄筋コンクリート造三階建ほか	5	8, 587.00	校舎、屋体ほか	S63. 2、H4. 3 H27. 3、H27. 12
		軽量鉄骨造平屋建折板葺	6	132. 30	自転車置場	H28. 9
五泉北中学校	37, 436. 75	鉄筋コンクリート造三階建ほか	11	8, 843. 00	校舎、屋体、給食	S55. 3、S55. 9 S55. 12、S56. 6
		木造鉄板葺平屋建	3	136. 00	プール付属屋ほか	S56. 8、S56. 11 S58. 2
川東中学校	26, 721. 04	木造鉄板葺平屋建	2	132. 00	プール付属屋、倉庫	S59. 7、S61. 10
		鉄筋コンクリート造三階建ほか	4	5, 389. 00	校舎、屋体	S59. 3、S61. 3 S61. 5
村松桜中学校	48, 568. 84	軽量鉄骨造平屋建折板葺	2	156. 80	自転車置場	—
		鉄筋コンクリート造三階建ほか	4	8, 792. 00	校舎、屋体	H11. 11、H11. 12
		鉄骨造平屋建	1	55. 08	倉庫	H12. 10
		軽量鉄骨造平屋建折板葺	6	198. 24	自転車置場	—

【参考資料 5】小中学校校舎の現状及び給食提供数

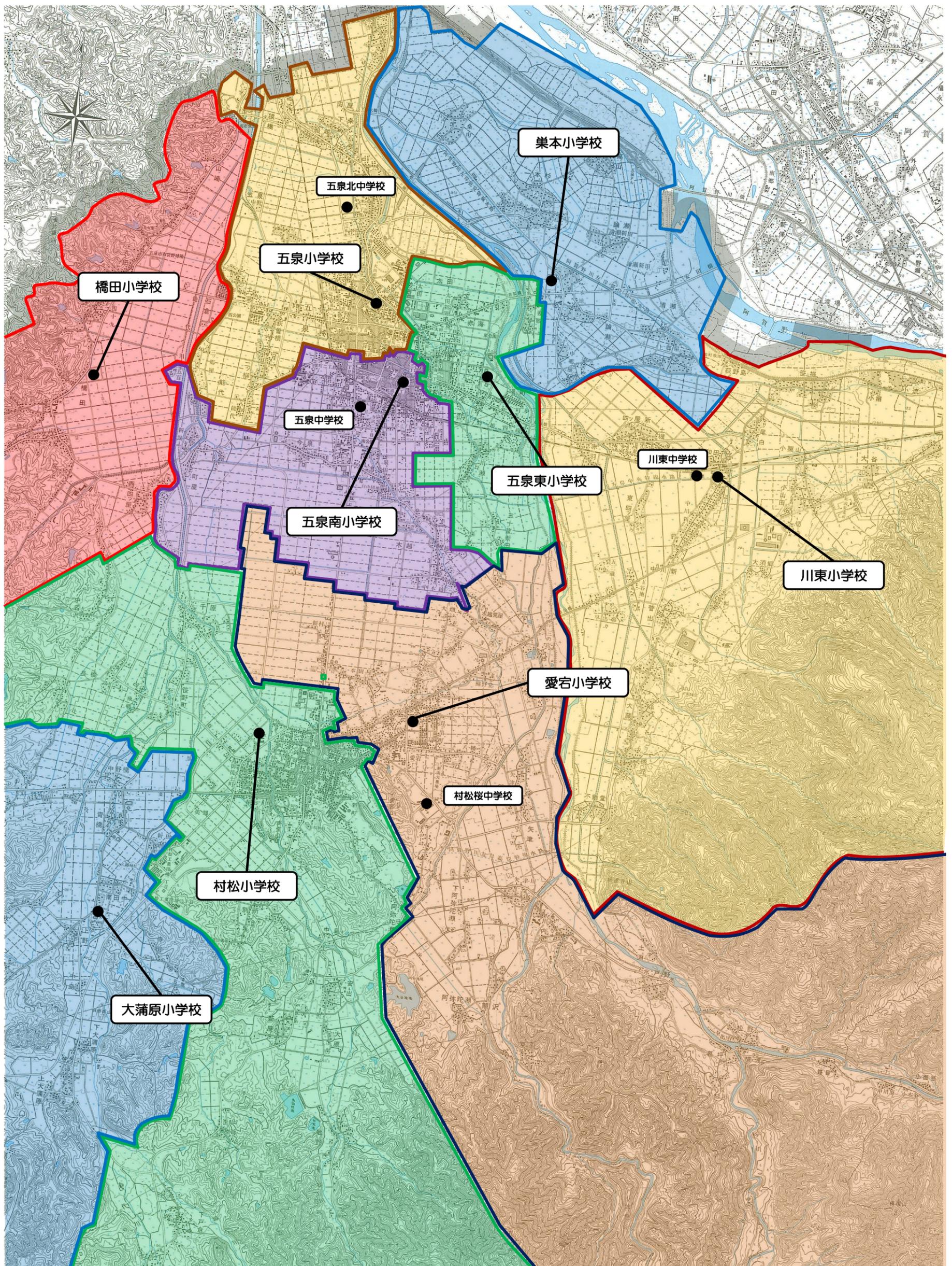
小学校

学校名	児童数	学級数		普通教室数		収容可能 学級数	給食提供数 (職員教含む)	給食提供 可能数	備考
		普通学級	特別支援 学級	普通教室数 (現学級)	普通教室形態の室 (現他用途)				
五泉小学校	442	16	6	22	4 特別活動室2、第2図書室1、 少人数指導教室1	26	498	700	
五泉南小学校	413	14	4	18	1 特別活動室1	19	601	700	
五泉東小学校	250	11	2	13	2 学習室1、生活教室1	15	277	350	
川東小学校	145	6	3	9	4 多目的室4	13	174	300	
巢本小学校	87	6	2	8	0	8	108	150	
橋田小学校	77	6	1	7	0	7	96	150	
大蒲原小学校	91	6	1	7	3 会議室1、生活科活動室1、 低学年用図書室1	10	110	150	
村松小学校	233	10	3	13	10 理科センター2、特別活動室 8	25	266	450	
愛宕小学校	197	8	2	10	4 多目的室4	14	222	350	

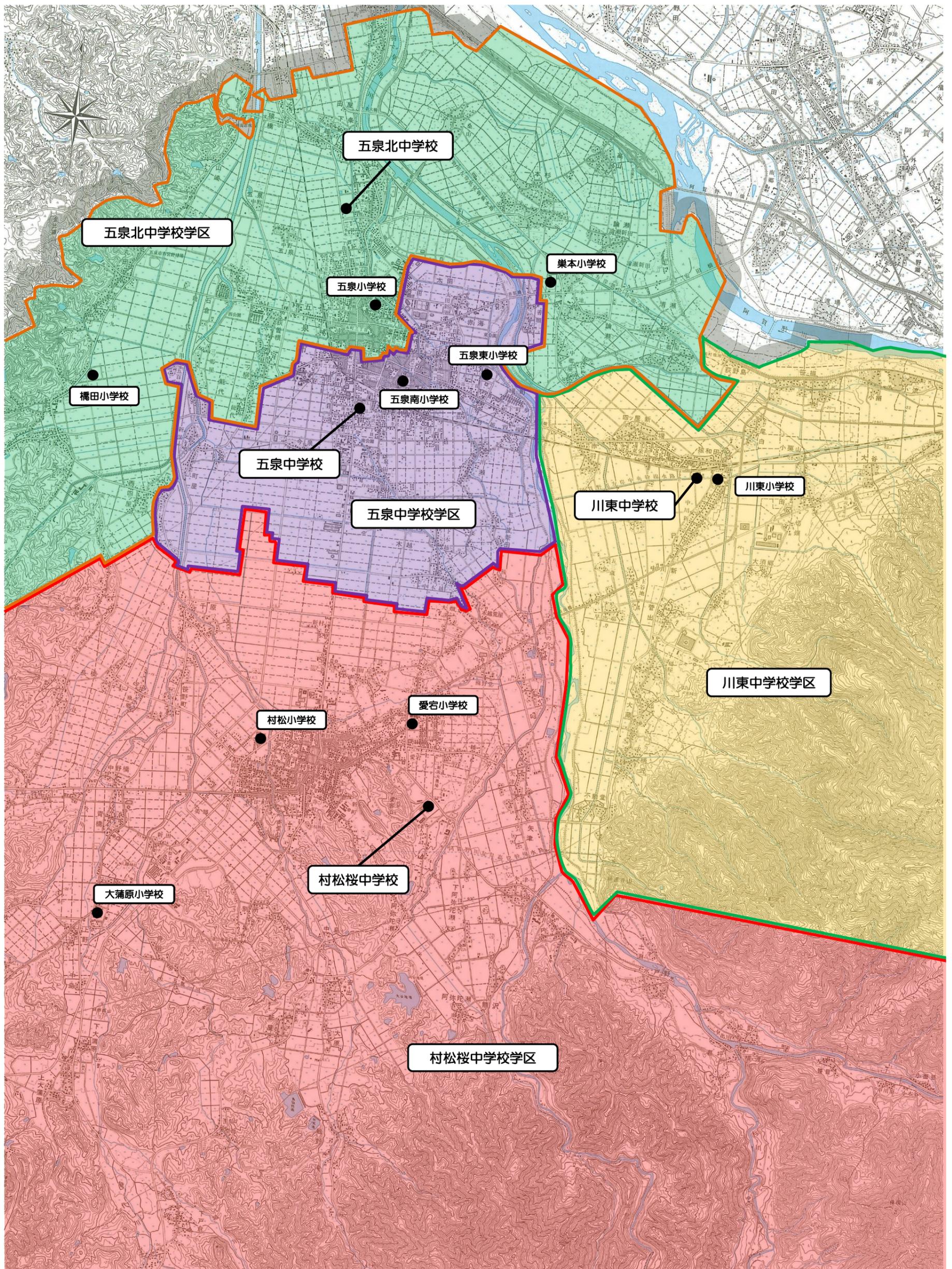
中学校

学校名	生徒数	学級数		普通教室数		収容可能 学級数	給食提供数 (職員数含む)	給食提供 可能数	備考
		普通学級	特別支援 学級	普通教室数 (現学級)	普通教室形態の室 (現他用途)				
五泉中学校	367	12	2	14	3 学習室3	17	400	550	
五泉北中学校	305	10	2	12	7 学習室4、アートホール1、 生徒会室1、進路指導室1	19	339	450	
川東中学校	61	3	1	4	6 学習室6	10	75	200	
村松桜中学校	331	11	3	14	1 特別活動室1	15	370	450	

# 【参考資料 6】 令和5年度 小学校区域図



# 【参考資料 7】 令和5年度 中学校区域図



## 【参考資料 8】 学校の規模について

学校規模の標準は、学校教育法施行規則第 41 条により

「小学校の学級数は、十二学級以上十八学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」

とされており、中学校については同法施行規則第七十九条に

「第四十一条から第四十九条まで、第五十条第二項、第五十四条から第六十八条までの規定は、中学校に準用する。(以下省略)」

とされています。

また、公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引きでは、学級数による学校規模の分類を

	小学校	中学校
過小規模校	5 学級以下	2 学級以下
小規模校	6 学級以上 11 学級以下	3 学級以上 11 学級以下
標準校	12 学級以上 18 学級以下	12 学級以上 18 学級以下
大規模校	19 学級以上 30 学級以下	19 学級以上 24 学級以下
過大規模校	31 学級以上	25 学級以上

としています。

しかし、「五泉市立小中学校の適正配置に関する基本方針」の中では、学校規模の分類について、過小規模校、小規模校、標準校、大規模校の 4 区分とし、

	小学校	中学校
過小規模校	5 学級以下	2 学級以下
小規模校	6 学級以上 11 学級以下	3 学級以上 11 学級以下
標準校	12 学級以上 18 学級以下	12 学級以上 18 学級以下
大規模校	標準校以上	標準校以上

と区分します。